

自己評価項目のチェックシート

No			評価項目	2025年度 9月15日	年度 月 日	年度 月 日
1	1 事業所運営の基礎準備	(1)理念・目標等を踏まえた事業計画の策定と評価に基づくサービスの改善	中・長期事業計画の策定と定期的な自己評価	△		
2			単年度の事業計画の策定と定期的な自己評価	△		
3			事業所の運営について改善への反映	○		
4			利用者・家族から評価を受ける仕組みとサービスの活用	×		
5			外部から評価を受ける仕組みとサービスの改善	×		
6		(2)計画的な人材育成	新任職員向けの研修計画などの整備	○		
7			職員育成計画と研修を受ける機会の確保	○		
8		(3)人材の配置と体制整備	早朝・夜間の計画的な訪問体制	×		
9			日曜・祝日、年末・年始の計画的な訪問体制	○		
10			新規の依頼の即日対応体制	○		
11		(4)経営・労務の管理	財務状況のチェックと経営の安定化に向けた取り組み	○		
12			人事基準・評価などを連動させた人材マネジメント	○		
13			働きやすい職場づくりへの取り組み	○		
14			業務の効率化のための記録等関係書類の電子化	○		
15		(5)サービスの標準化とリスクマネジメント	人工呼吸器の利用者への事業所独自のマニュアル作成	×		
16			終末期ケアの事業所独自のマニュアル作成	×		
17			カンファレンス・事例検討の実施およびサービスの改善	○		
18			事故の対応マニュアル作成および職員への周知	○		
19	2 サ利用者等の状況に応じた専門的な	(6)アセスメントに基づく看護計画の作成と見直し	利用者の包括的なアセスメントと看護計画の作成	○		
20			精神疾患のある利用者の包括的なアセスメントと看護計画の作成	○		
21			小児の利用者の包括的なアセスメントと看護計画の作成	×		
22			看護計画について管理者・リーダー等からのアドバイス	△		
23			利用者等が行う医療的ケアの個性性に合わせた指導	○		
24		(7)在学での日々の生活を支えるケアの提供	利用者や家族等の意向を踏まえた支援	○		
25			利用者等の希望に応じた看取りの実現	○		
26			終末期ケアの経過説明と記録	○		
27			重症心身障害児や小児がんの利用者の看取りまで支えるケア	×		
28			テスカンファレンスの開催	△		
29	3 多職種・多機関との連携	(8)在宅生活の継続を支えるための多職種との連携促進	「褥瘡のある利用者」の多職種との情報共有・協力要請	○		
30			「緩和ケアの必要な利用者」の多職種との情報共有・協力要請	○		
31			「精神疾患のある利用者」の多職種との情報共有・協力要請	○		
32			「小児の利用者」の多職種との情報共有・協力要請	×		
33			入院の可能性がある利用者への対応方針等の事前調整	○		
34			サービス担当者会議等への参加、情報提供	○		
35			他の訪問看護事業所などからの研修の受け入れ	×		
36			「施設等に入居中の利用者」の多職種との情報共有・相談・助言	△		
37			多職種間での ICT を活用した情報共有	○		
38		(9)円滑で切れ目のないケアの提供	退院・退所前における在宅生活のための準備	○		
39	4 安んずる心して暮らす	(10)地域への積極的な展開	地域住民に向けた情報発信	×		
40		(11)地域包括ケアシステムの構築への貢献	地域包括ケアシステムの構築に係る取り組みへの参加	△		
41			認知症の人が安心して暮らせる地域づくりへの積極的な参加	△		
42			地域における訪問看護事業所間のネットワークの構築	△		